



会長あいさつ

農業委員会

会長 今

耕

一



新年明けましておめでとうございませう。

日頃から農業委員会活動に対し、地域の皆様及び関係機関におかれましては、格別のご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年は平成29年7月の改選による農業委員会新体制下1年目という中で、町農業振興や農家等の経営安定のため、法律に基づく農地の貸借や売買、農地転用等の審議及び農地利用の最適化活動などを実施してまいりました。

特に、農地利用の最適化については、今後の町農業を振興していくために大変重要なことであると考え、農地パトロールを強化するとともに農家意向調査を実施し、遊休農地の発生防止・解消、担い手への農用地の利用集積・集約化を促進してまいりました。

本年については、昨年実施した農家意向調査により得た情報をもとに、町や農業公社などと緊密に連携し、農地利用の最適化を更に推進していきたいと考えております。

また、対外的にはTPP等外国との貿易協定関係、国内においては農地中間管理事業法が5年経過し見直しの時期が来ているなど、国内外の農業情勢が変化してきております。

このような中、皆様におかれましては、厳しい農業情勢の中ご苦労も少なくないものと思いますが、農業や農地に関する相談等がございましたら、気軽に地域の農業委員や農地利用最適化推進委員にご相談ください。

結びとなりますが、今年1年が皆様にとって、健康で活力ある素晴らしい年になることを願っています。年頭の挨拶とさせていただきます。

平成31年度 町農地等利用最適化推進に関する意見及び町農業等施策並びに予算に関する要望と町からの回答

農業委員会では、「平成31年度町農地等利用最適化推進に関する意見及び町農業等施策並びに予算に関する要望」をまとめ、10月15日に平山町長へ要望書を提出し、11月30日に町から回答がありました。

要望、回答の概要は、次のとおりです。

黒…要望 緑…回答

1 稲作部門について

(1) 農業用排水路及び農道の整備推進
【要望】施設の老朽化に伴う補修・整備は、稲作農家に大きな負担となっている。整備に係る県単補助金の町負担分の上乗せや町単独土地改良事業費補助金の引き上げなど支援の拡充を要望します。

【回答】町においては、施設管理者の負担軽減のために農業用排水路や農道の補修・整備を行う場合、県との連携強化を図り県営事業の導入を推進しているところである。

また、受益面積や事業費が小規模なために県営事業の採択を受けられない場合は、町単独土地改良事業による補助を行っております。

今後の町補助金のあり方については、支援の拡充に向け検討してきたいと考えております。

2 畜産部門について

(1) 堆肥の利用促進

【要望】本町は、畜産農業を振興しており、その結果副産物として堆肥が発生し年々増加している状況にあります。この堆肥について、畜産農家のみならず耕畜連携や県が勧めている「水



10月15日要望活動時の様子。農業委員会は会長を含む三役と事務局長が平山町長へ要望事項を伝えました。